

量子センシング ～ 究極の感度を求めて ～

近年急速に発展している量子情報技術をセンシングに応用することにより、古典系では達成することが難しい高感度な計測の実現が期待されています。

本シンポジウムでは、量子センシングに関して光・半導体・超伝導体という幅広いアプローチから議論します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時:2019年3月9日(土)13:30～

場所:東京工業大学 大岡山キャンパス

招待講演リスト:

- | | |
|-------------|--|
| 野口 篤史(東大) | 「超伝導量子回路を用いた弾性波の超高感度検出」 |
| 久保 結丸(OIST) | 「超伝導共振器を用いた電子スピン検出」 |
| 樋田 啓(NTT) | 「超伝導量子ビットを用いた電子スピン検出」 |
| 湯川 英美(理研) | 「マクロなエンタングルド状態を用いた
磁場センシング」 |
| 波多野 睦子(東工大) | 「ワイドギャップ半導体を用いた固体量子センサ」 |
| 平山 祥郎(東北大) | 「半導体量子状態を用いた核スピン計測」 |
| 岡崎 雄馬(産総研) | 「歪を介したメカニカル素子と核スピンの結合制御
～計測応用へ向けて～」 |
| 平川 一彦(東大) | 「単一分子・原子のテラヘルツセンシング」 |

企画

大分類3 光・フォトニクス
大分類11 超伝導
新領域量子情報研究グループ

世話人

齊藤 志郎(NTT), 根本 香絵(NII)
寺井 弘高(NICT), 有吉 誠一郎(豊橋技科大)
山梨 裕希(横浜国大)